

がん治療に かかる診療 報酬を考える

“医は仁術”という言葉があります。医師の使命は患者を救うことであり、金銭的な利益を追求するものではないといった言葉があります。そして、多くの医療者はそのような理念で医療を行っていると思われます。しかし、近年は悪性腫瘍に対する薬物療法において分子標的治療や免疫チェックポイント阻害薬などの新規薬剤が開発され、生存期間が延長する一方でそのコストは膨大になるといった報告があります。今後の日本は少子高齢化が進むことで稼ぎ手は減り、医療の出費は激増することが想定されることから、限りある資源を賢く使うこと、すなわち治療効果がコストに見合うのか等を考えることは重要とされています。今回は医療経済が専門の岩谷先生に医療と経済について講演を企画いたしました。一緒に医療経済を考えましょう。

第 43 回

がん診療支援室主催講演会

開催日: 令和 7 年 8 月 20 日 (水)

時間・開催方法: 18:30~19:45 オンライン (Zoom)

講演 18:30~19:30

「Evidence Based Medicine から Value Based Medicine への パラダイムシフト」

講師 岩谷 胤生 先生

(聖マリアンナ医科大学 医学部 乳腺・内分泌外科学 教授)

質疑応答: 19:30~19:45

8 月 19 日までに以下の URL または QR コードより必要事項を入力し申込をしてください

<https://forms.gle/zE672vJCi1FL5Mub9>



申込後 3 日以内に返信がない場合は

049-228-3455 (がん診療支援室) まで、ご連絡ください

埼玉医科大学総合医療センター がん診療支援室

後援: 職員研修委員会